

「学びのアンテナ」を広げよう!

南中図書館だより

9月号

体育祭・文化祭、お疲れさまでした! 今年の夏のうだるような暑さも、落ち着いてきましたね。朝夕の涼しい風とともに、季節は「実りの秋」へと向かっています。

さてみなさんは、「情報を制する者は、世界を制す」という言葉を知っていますか? この言葉は、中国春秋時代に著された「孫子の兵法」に由来するといわれています。

世界には多くの情報が行き交っています。しかし、全てが「正しい」わけではありません。「正しい」情報は、みなさんのチカラとなりますが、「間違った」情報は・・・



情報を「取捨選択 (しゅしゃせんたく = 多くのなかから、良いもの・必要なものを選び取り、不要なものは捨てるの意味)」するためには、まず、「多種多様 (たしゆたよう) な情報に触れる機会を持つ」ことが必要です。みなさんの中に、自分の好きな分野・得意な分野だけしか知ろうとしない人はいませんか? なんて、もったいない! 図書館を含め、南中には、いろいろな情報を得る機会が満載です。

さまざまな方向に、「学びのアンテナ」を広げ、「選び取るチカラ」を、今後もどんどん育てていきましょう!



今年も、先生方に「おすすめ本」を紹介していただきました。生徒玄関側の入り口近くに、おすすめ本と一緒に展示していますよ。



図書委員は今年、「読書推せん文コンクール」に応募しました。図書館横廊下に、コピーを展示してあります。





図書館だより de Bibliobattle ビブリオバトル!

この本を、
「推し」ます!

みなさん、前回は「図書館だより de ビブリオバトル」に参加してくれて、ありがとうございました!



夏休み明け集計の結果、7月のチャンプ本には、
投票総数の4分の1を獲得した『みとりし』が選ばれました!
動物の言葉が分かる主人公が、ペットの最期の言葉を飼い主に伝える・・・
逝くものと残されるものとの、心震える物語です。



私の推し本は、宮沢賢治が書いた
『銀河鉄道の夜』です。この本の内容は、
孤独な少年ジョバンニが、友人のカンパネラと
一緒に、銀河鉄道を旅する、というお話です。
読んでいくうちに、いろいろな考察が出来るので、
飽きずに楽しんで読めます。(1年生)



書名:『銀河鉄道の夜』
作者名:宮沢 賢治

この本は、テニスサークルを通して、
たいして仲良くないのにつらみ続けている、
はみ出し者の麻帆・紗羅・翔太・のぞみの4人が、
もがきながら成長していくという話です。
心がゆさぶられる、中学3年生をテーマにした
物語です。(1年生)



書名:『スマイル・ムーンの夜に』
作者名:宮下 恵菜

「このすば」は、めっちゃいいんですよ!
絵とかカワイイし、話の内容も最高です!
魔王を倒すって話です。
スピンオフの話も発売されていて、こちらも最高!
(1年生)



書名:『この素晴らしい世界に
祝福を!』
作者名:暁 なつめ

みなさんの推し本は、こちらの6冊です。



この本を選んだ理由は、表紙に書いてある「児童労働」とはなんだろうと思ったからです。世界には、僕たちより小さい子どもが、労働者として働いている国もあります。そんな国々の、いろいろな事情がわかる本です。(1年生)



書名:『このTシャツは児童労働で作られました。』
作者名:シモン・ストランゲル

主人公 風間公親は、刑事になるための指導をする指導官。毎回違う人が来て、指導官から少しヒントをもらいながら、あらゆる事件を解決し、新米刑事になっていきます。一度読み始めると、止まらなくなる一冊です。(1年生)



書名:『教場0
刑事指導官・風間公親』
作者名:長岡 弘樹

僕が紹介する推し本は、「夜に駆ける YOASOBI特集」です。これは2020年に流行した曲、「夜に駆ける」の原作です。「ハルジオン」等も載っているのでおすすめです。歌詞の意味などが分かり、いろいろ驚きました。(1年生)



書名:『夜に駆ける
YOASOBI 小説集』
作者名:星野 舞夜 はか